

郷土を知り、郷土を愛する

志木市 歴史とんぼ

—— 執筆・協力 志木のまち案内人の会 ——

第61回 宗岡の大先達 日行星山

上宗岡4丁目志木ハイデンス脇に立派な石碑があります。「大教正日行星山彦命」とありますが、大教正という立派な位を持つ日行星山とはどんな人物なのでしょう。

日本には寺社を中心として講という組織があり、代表が遠くの神仏をお参りに行く仕組みが作られ、その例として富士山に参拝する富士講があります。

志木には田子山富士築造以前の江戸時代から富士講があったと推測できますが、確実な資料はありません。一方で宗岡には、天明2年(1782)にできた丸藤講という富士講を組織した高田藤四郎の弟子である高野源治郎という人物がいました。源治郎は地元にも丸藤講を組織して初代先達(指導者)となり、そこ

から数えて八代目の先達、星野勘蔵が日行星山です。

勘蔵は、嘉永5年(1852)に生まれ、明治5年(1872)にはじまった羽根倉浅間神社境内の富士塚築造に参加するとともに、明治8年(1875)に23歳ではじめて富士山に登拝、明治13年(1880)には先達の辞令と日行星山という行名を受けました。以来昭和8年(1933)に病没するまで70回余りの富士登山を成し遂げたほか、明治25年(1892)には、富士山麓北口(山梨県富士吉田市)に「吉田胎内」という全長61メートルに及ぶ洞穴を発見するという功績を挙げました。この胎内は承平7年(937)の噴火による剣丸尾の溶岩流によってできたもので、入り口に倒れた樹木の跡が残って肋骨状になり、人体内部のように見えるところから胎内と呼ばれます。また「吉田胎内樹型」として、世界遺産である富士山の構成資産の一つとなっています。

吉田胎内では、毎年4月29日に胎内祭が行われ、田子山富士保存会有志や星野家の子孫も参列しています。参列した人を見守るように、当時の日行星山や宗岡の人たちが建立した石碑が並んでいます。

宗岡石碑と富士吉田石碑をぜひ一度ご覧ください。



▲宗岡石碑



▲富士吉田石碑



スポーツでつながるまちづくり

10月13日は「スポーツの日」。スポーツを楽しむ、他者を尊重する精神を培いながら、健康で活力ある社会の実現を願う日として制定されました。かつては「体育の日」と呼ばれていましたが、2020年の東京オリンピックをきっかけに「スポーツの日」となりました。

現在、志木市では「いつでも・どこでも・だれでもスポーツを楽しめる夢のあるまち」を基本理念に掲げ、令和5年にスタートした第3期志木市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ環境の整備をはじめ、ホームページやSNSなどを活用した情報発信の強化、スケートボードなどの新しいスポーツを楽しむ機会の創出といった施策を進めています。

一例ですが、いろは親水公園ではこれまで試行的に設置していたアーバンスポーツエリアを正式なエリアとして開設し、若者を中心に人気のあるスケートボードやBMXなどを身近で楽しむことができる環境に整えました。

50年以上にわたり市民に親しまれてきた秋ヶ瀬スポーツセンターも老朽化が進んでいたことから、建替えに向け、現在は仮事務所へ移転し解体工事を進めています。新たな施設では、柔道や剣道などの武道ができる環境も整備するとともに、地域活動にも活用できる多目的室を設置す

るなど、地域コミュニティの向上にもつながる施設として、令和9年度のオープンを目指しています。さらに、10月からは、秋ヶ瀬総合運動場で試行的に簡易ナイター設備の貸し出しを開始します。これによりサッカーやテニスなど、19時までの利用が日没後でも可能となり、仕事や学校の帰りでもスポーツに親しむことができるようになります。

一方で、中学校の部活動のあり方についても重要な課題として捉えています。国のガイドラインに基づく「部活動の地域展開」については「まずは休日における地域の受け入れ環境整備の推進」が示されていることから、本市においても、地域の方々にご協力をいただきながら「学校部活動」から「地域クラブ活動」へ、子どもたちが安心して参加できる新たな活動の場の創出に向けてサポート体制を強化していきたいと考えています。

直近では、インターハイに出場した神奈川県立桐光学園高等学校サッカー部で主将を務める、志木第二中学校出身の倉持慶太さんをはじめ、マイナビJapan Cup Yokosuka 2025において、BMXフラットランドGirls Highクラス全国2位に輝いた、志木中学校2年の増淵しずくさん、JOCジュニアオリンピックカップU16男子陸上三段跳の埼玉県予選で優勝し全国大会へ出場する、志木第二中学校3年の藤山湊士さんなど、スポーツで活躍する志木っ子たちが私のところへ嬉しい報告に来てくれました。

これからも、未来のアスリートを目指す志木っ子たちを全力で応援するとともに、市民の皆さんがウォーキングなどの健康運動や競技スポーツ、アーバンスポーツなど幅広いスポーツを気軽に楽しめるよう、一人ひとりのライフスタイルにあわせてスポーツができる環境づくりを進めていきたいと思っています。